

令和8年度 大学地域連携活動支援事業 中間報告会

医療系学生による 「メディカルホースサロン」

馬とのふれあいと健康チェックを通じた地域交流事業

国際医療福祉大学 乗馬部「うまごころ」

2026年10月15日



01 地域の現況と課題

馬のまち・那須地域で、フレイル予防が急務

31.2%

大田原市の高齢化率
(令和6年推計値)

31.1%

那須塩原市の高齢化率
(令和7年予測値)

最多

介護が必要になった原因
「高齢による衰弱」

地域の強み：全国屈指の「馬の拠点」

乗馬施設や引退競走馬の支援団体が点在。
馬事文化は世代を超えて共有できる地域資源

地域の課題：交流の減少と参加率の低下

サロン活動が固定化。
「自分の身体機能を客観的に知りたい」という声も

02 活動の概要

地域のイベントに出店し、4つのコーナーで展開

10月3日(土)「第3回 ふれあい那須塩原 at 黒磯」に、乗馬部「うまごころ」として出店

健康チェック

- ・ 血圧測定
- ・ 体組成・握力測定
- ・ 認知機能チェック
- ・ 生活習慣アドバイス

馬とのふれあい

- ・ 引き馬体験
- ・ 馬蹄輪投げ
- ・ エサやり体験
- ・ 記念撮影

活動紹介

- ・ 活動紹介パネル
- ・ ホースセラピー紹介

新企画

バリアフリー・ 共生ふれあい

- ・ 地上ふれあいスペース
- ・ 音・触覚で感じる体験
- ・ 筆談サポート

馬がつなぐ、心と体の健康。世代や障害の有無を超えたコミュニティづくり

03 実施体制と地域団体との連携

乗馬部「うまごころ」が主体となり、地域と連携

実施主体

国際医療福祉大学 乗馬部「うまごころ」

医療・福祉を学ぶ部員が、馬とのふれあいの効用を地域に届ける活動と「乗馬×医療」の研究に取り組む

当日の役割分担

馬の管理・安全誘導／健康測定／輪投げ・物販／救護・衛生／福祉サポート

地域団体

那須トレーニングファーム (那須ホースフィールド)

部の活動拠点。馬の派遣・輸送、ハンドリング指導、当日の安全確保、出店への協賛

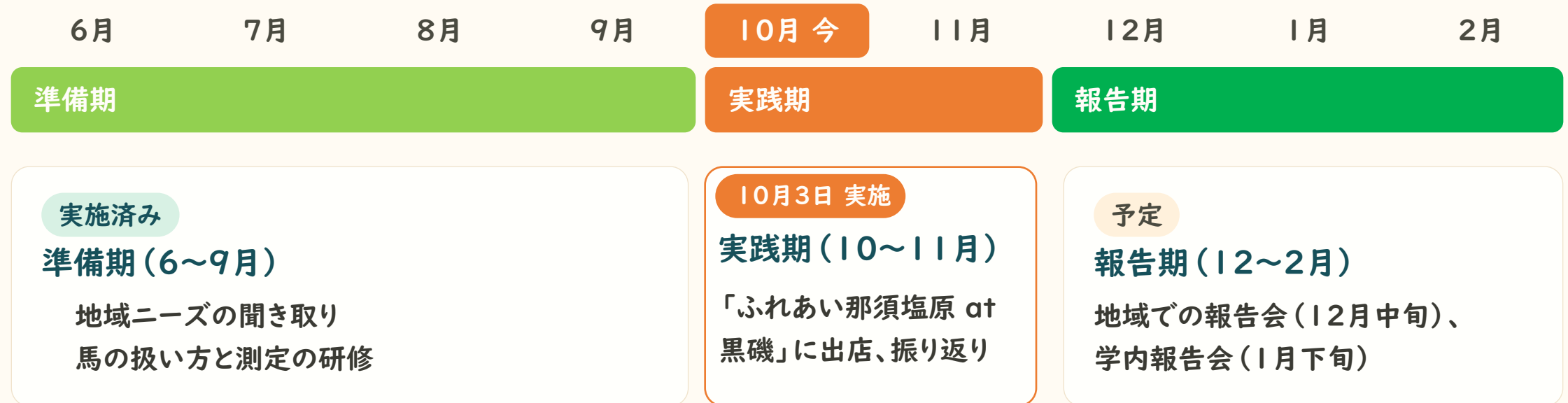
地域団体

那須塩原市社会福祉協議会

高齢者のニーズへの助言、
「ふれあい那須塩原」出店での連携

04 活動内容

「準備・実践・報告」の3段階で1年間取り組む



04 活動内容(準備期 6~9月)

安全と専門性を高める4つの準備

① 地域ニーズの聞き取り

社会福祉協議会などから、地域との交流イベントなどの聞き取り

実施: 7月・数回

② 馬のハンドリング実習

活動拠点の那須トレーニングファームで、馬の扱い方を習得

実施: 4月~9月・週1回

③ 測定と伝え方の研修

血圧・体組成・握力などの測定手順と、結果の伝え方を練習

実施: 9月・数回

④ 出店計画と安全対策

企画書を作成し、緊急時対応・保険・バリアフリー対応を決定

実施: 4月~9月・週1回



04 活動内容(実践期)

10月3日、地域のイベントでサロンを実施

日時	2026年10月3日(土) 10:00~15:00
イベント	第3回 ふれあい那須塩原 at 黒磯
会場	那珂川河畔公園 石の舞台ステージ広場
体制	学生スタッフ 15名(部員・ボランティア)

安全・衛生への配慮

安全柵で馬の区画を明確化／手指消毒の徹底／機器の毎回消毒
「医療診断ではない」ことを明示／アレルギー掲示と同意確認

馬と 地域の笑顔と、
未来の健康のために

医療福祉が
つながる

健康チェックと馬とのふれあい体験

第3回
ふれあい
那須塩原
at 黒磯

つながる。ふれあう。
笑顔がひろがる。

国際医療福祉大学 乗馬部「うまごころ」は、
馬とのふれあいと医療福祉の力で
だれもが健康でいきいき暮らせる社会を目指しています

健康チェック
コーナー

馬とのふれあい・
体験コーナー

物販・活動紹介
コーナー

NEW!
バリアフリー・
共生ふれあい・コーナー

- 健康チェック
コーナー
- 馬とのふれあい・
体験コーナー
- 物販・活動紹介
コーナー
- バリアフリー・
共生ふれあい・コーナー

- 血压測定
- 体組成測定・握力測定
- 認知機能チェック
- 生活習慣アドバイス
- 引き馬体験
- 馬蹄輪投げ
- エサやり体験
- 記念撮影
- オリジナルグッズ販売
- 活動紹介パネル展示
- ホースセラピーの紹介
- 地上ふれあいスペース
- 音や触覚で感じる馬体験
- 学生サポート(筆談など)

2026
10.3 SAT
10:00-15:00

小雨決行
雨天時は内容縮小
または中止

会場
那須川河畔公園 石の舞台ステージ広場
(出店ブースエリア)

協力・協賛：那須トレーニングファーム・那須ホースフィールド

国際医療福祉大学
乗馬部「うまごころ」

馬とのふれあいを通して、医療・福祉に貢献する活動
を行っています。是非ブースにお立ち寄りください。

【お問い合わせ】
国際医療福祉大学 大田原キャンパス
担当教員 小野田 公(理学療法学科)
〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1
TEL 0287-24-3221
Mail: umagocoro@gmail.com

「うまごころの活動をチェック！」
Instagram
https://www.instagram.com/umagocoro/

だれもが楽しめる共生型ブース

車いすOK ベビーカーOK 介助サポートあり
11:30-12:00は「ゆったり体験タイム」
配慮が必要な方を優先してご案内します。

※内容は変更になることがあります。

04 活動内容（新たな取組）

障害の有無にかかわらず楽しめる「共生型ブース」

対象	主な配慮
車椅子を利用する方	地上ふれあいスペース、車椅子に合わせた設定、広い通路
目の不自由な方	音・におい・ぬくもりで感じる馬体験、声かけ案内
耳の不自由な方	筆談ボードでの対応、図解の多い説明パネル
すべての方	「ゆったり体験タイム」で優先案内、福祉を学ぶ学生がサポート

05 活動成果（中間）

10月3日の実施で得られた成果

500名

イベントへの
来場者

86名

エサやり（人参）体験
の利用者

42名

引き馬体験の参加者

20名

健康チェックの
参加者

参加者の声（アンケート）

「スゴイよかった」

「初めて体の分析を見てもらいました。

あらためて体を大切に、健康に生きていきたいです。」

学生の学び・気づき

「多くの人に馬に触れて頂き良かった」

「認知機能チェックに難しさを感じる方が想定より
多く、支援の必要性を実感した」

「馬に触れてほしかったが障がいを持つ方が
リスクの面で触れ合いができない人がいて残念」

当日の様子



06 今後の活動方針

振り返り・報告を経て、地域が続けられる形へ

10～11月

振り返りと改善 アンケートの「助かった配慮・改善点」を分析し、次年度に反映

12月中旬

地域での報告会 市・社会福祉協議会・参加住民に結果を報告し、継続の仕組みを話し合う

1月下旬

学内報告会 ポスター展示と発表で、未参加の学生に活動を伝え、後継学生を育てる

令和9～10年度

継続・展開 地域が主体となって続けられるモデルとし、県内他地域への展開を目指す

ご助言いただきたい点

ポスターやSNSで告知したが、健康チェックの利用は20名にとどまった。
高齢の方に届く広報・誘導の方法についてご助言をいただきたい

ご清聴ありがとうございました

人・馬・地域が支え合う、栃木ならではの健康づくりを目指して



国際医療福祉大学 乗馬部「うまごころ」